

# 屠胴塚池 ハザードマップ

縮尺 1:11,000



屠胴塚池ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、いざ防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

## いざというときは

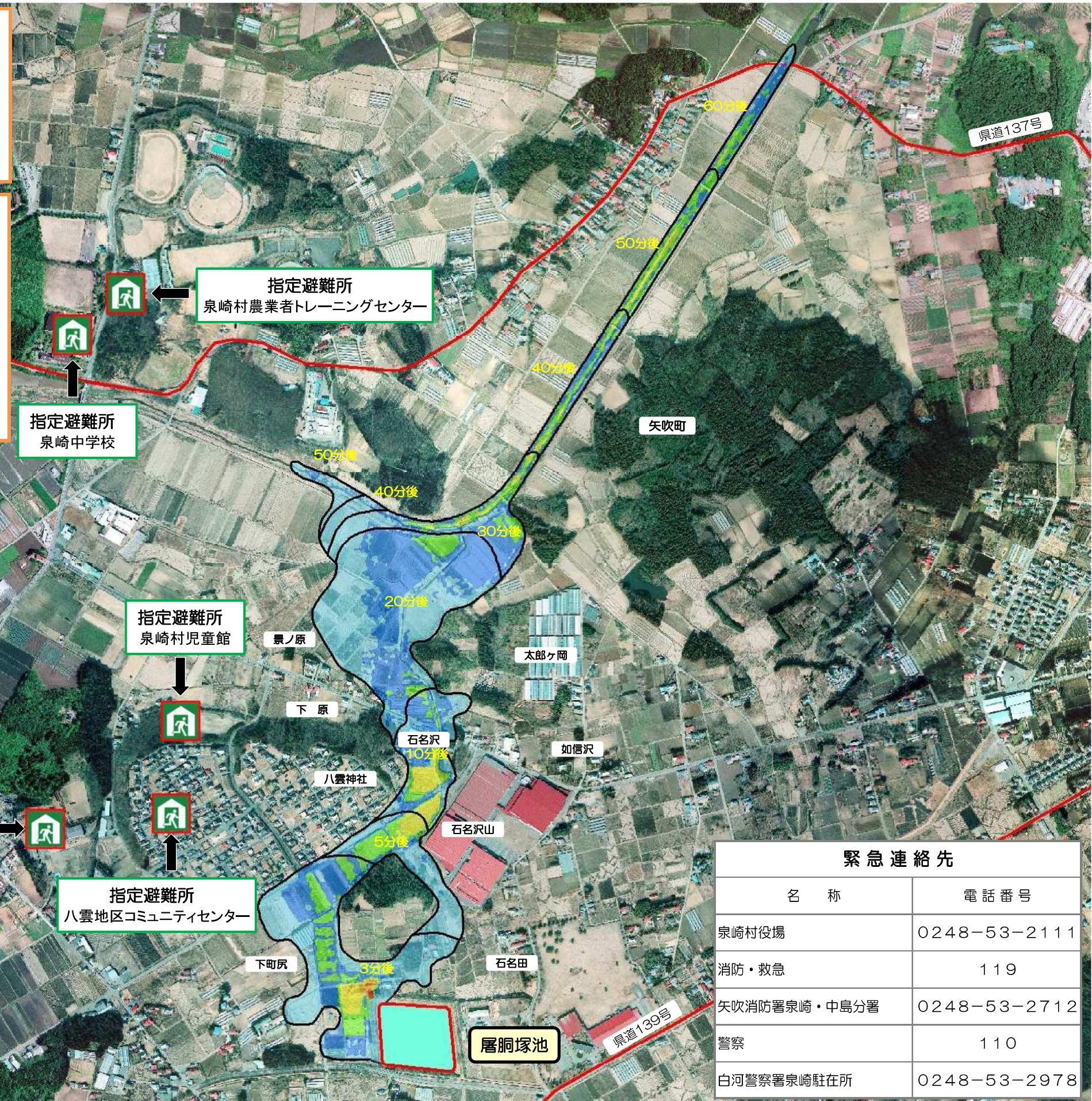
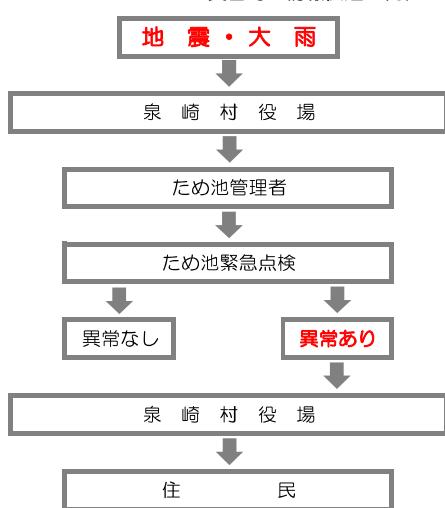
- ・避難は可能な限り浸水がはじまる前に
- ・動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず徒歩で！足下に注意して避難
- ・ため池直下（2.0～3.0mの水深予想）：速やかに高台へ
- ・ため池直下以外（0.5m～1.5mの水深予想）：建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

地震のあとの災害シナリオ						
時 間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分	落ち着くまで
地震情報	緊急地震速報	発生	地震速報	被害の情報収集		
(TV・ラジオ)	(数秒前)		防災無線			

被 害	下町尻地内に水が到達			
○決壊しない場合		緊急放流で水位低下・点検		
※地震直後に決壊しなくとも、数日後に決壊することがあるため、監視を継続				
行 動 の 目 安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る 家族を守る 揺れがおさまったら、高台や安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し、村の指示を待つ

## 緊急時の屠胴塚池管理体制 ～災害時の情報伝達の流れ～



# 石倉池 ハザードマップ



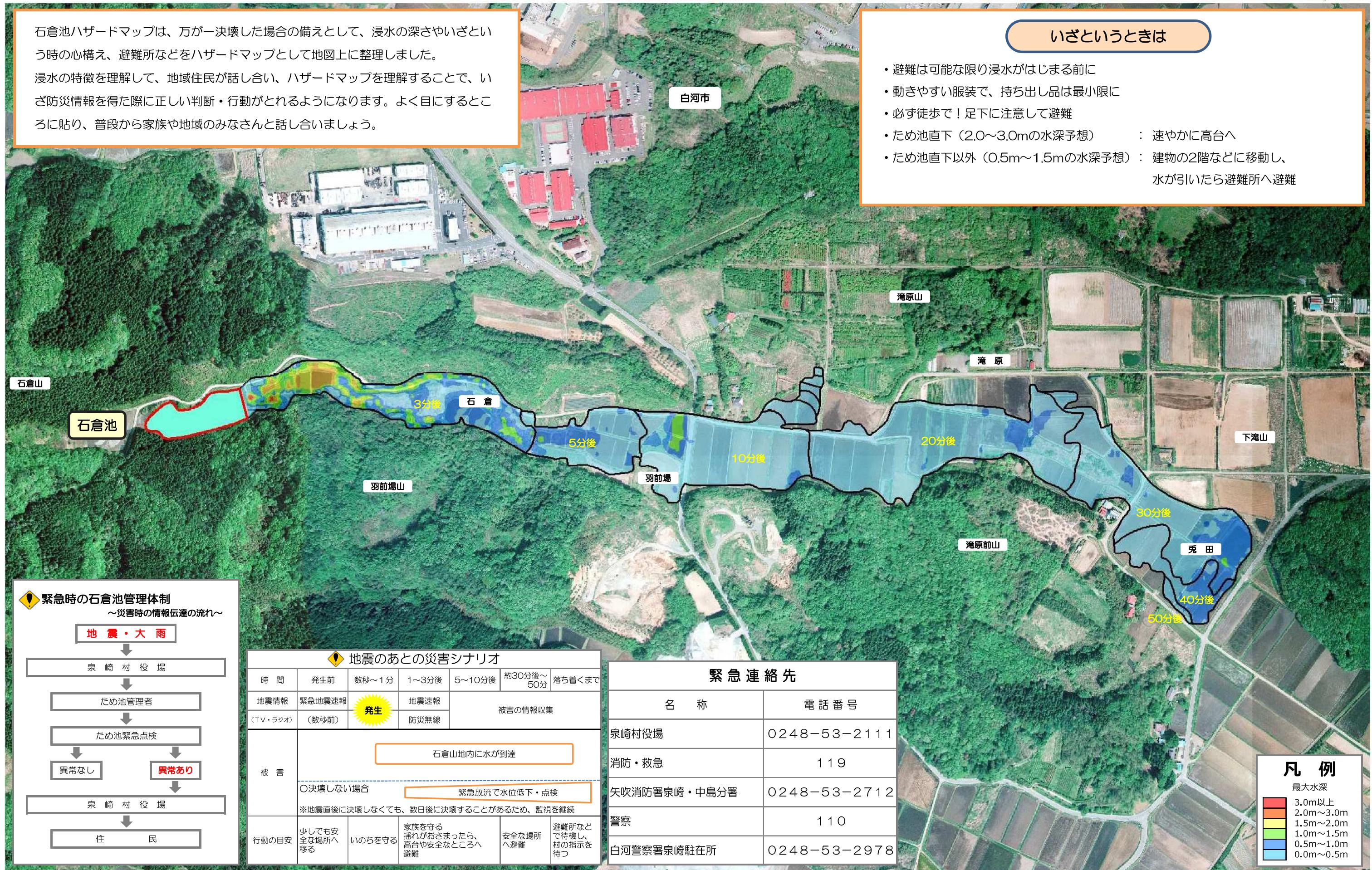
0 100 200 300 400 m

縮尺 1:5,000

石倉池ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、いざ防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

## いざというときは

- ・避難は可能な限り浸水がはじまる前に
- ・動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず徒歩で！足下に注意して避難
- ・ため池直下（2.0～3.0mの水深予想）：速やかに高台へ
- ・ため池直下以外（0.5m～1.5mの水深予想）：建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難



# 薬師堂池ハザードマップ

0 100 200 300 400 m 縮尺 1:5,500

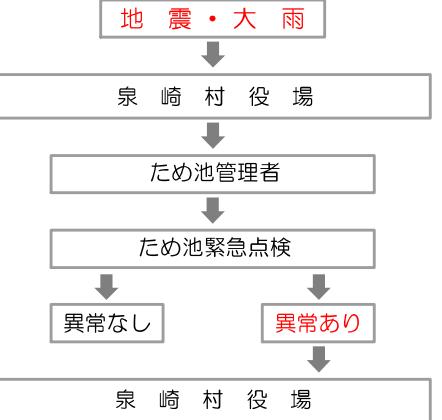


薬師堂池ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

## いざというときは

- ・避難は可能な限り浸水がはじまる前に
- ・動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず徒歩で！足下に注意して避難
- ・ため池直下（0.5～2.0mの水深予想）：速やかに高台へ
- ・ため池直下以外（0.5m～1.0mの水深予想）：建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

### ◆ 緊急時の薬師堂池管理体制 ～災害時の情報伝達の流れ～



### ◆ 地震のあとの災害シナリオ

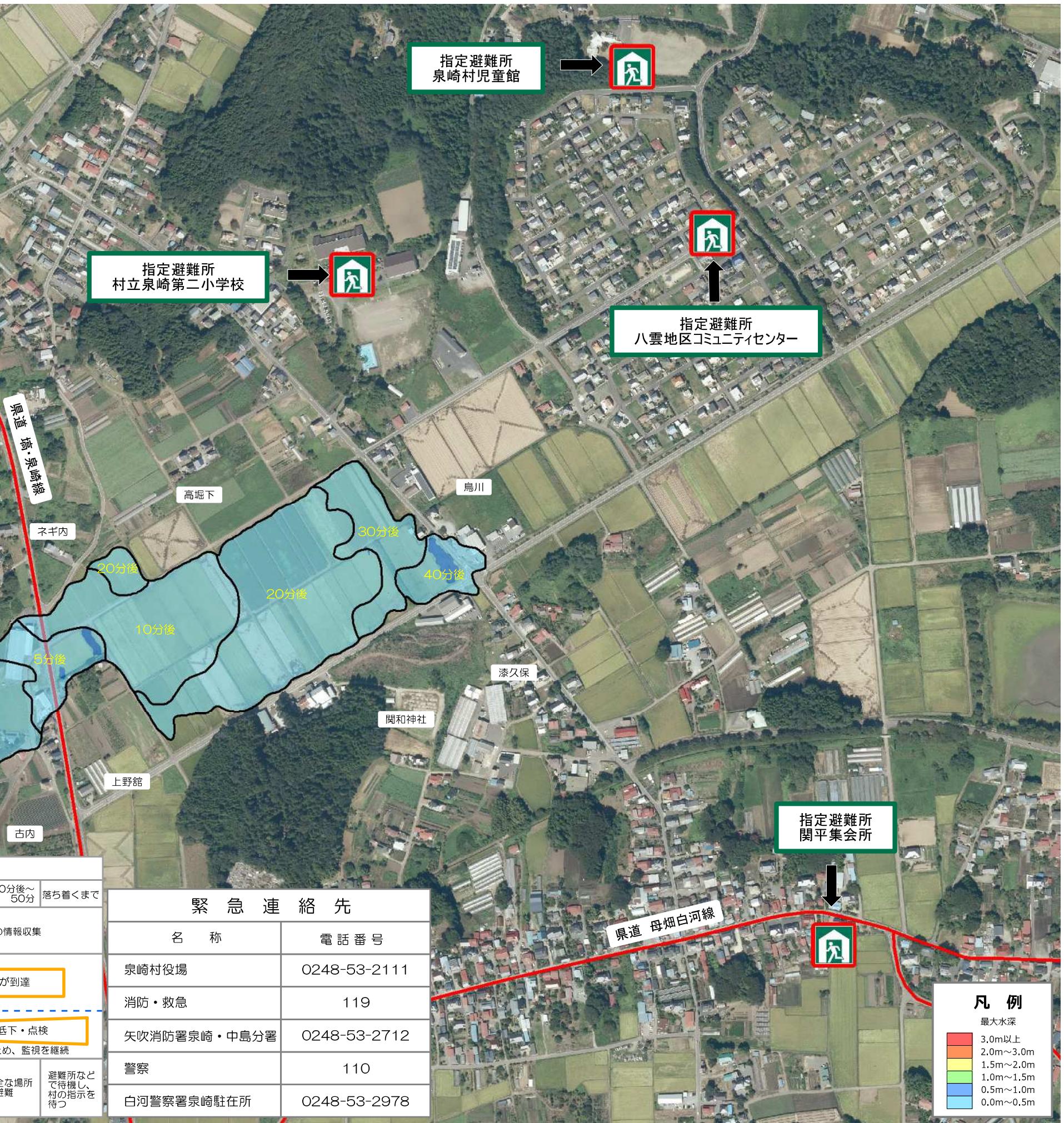
時間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分	落ち着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線		被害の情報収集	

被	薬師堂地内に水が到達			
○決壊しない場合				
緊急放流で水位低下・点検				
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る		

※地震直後に決壊しなくとも、数日後に決壊することがあるため、監視を継続

### 緊急連絡先

名 称	電 話 番 号
泉崎村役場	0248-53-2111
消防・救急	119
矢吹消防署泉崎・中島分署	0248-53-2712
警察	110
白河警察署泉崎駐在所	0248-53-2978



# 前屋敷池ハザードマップ

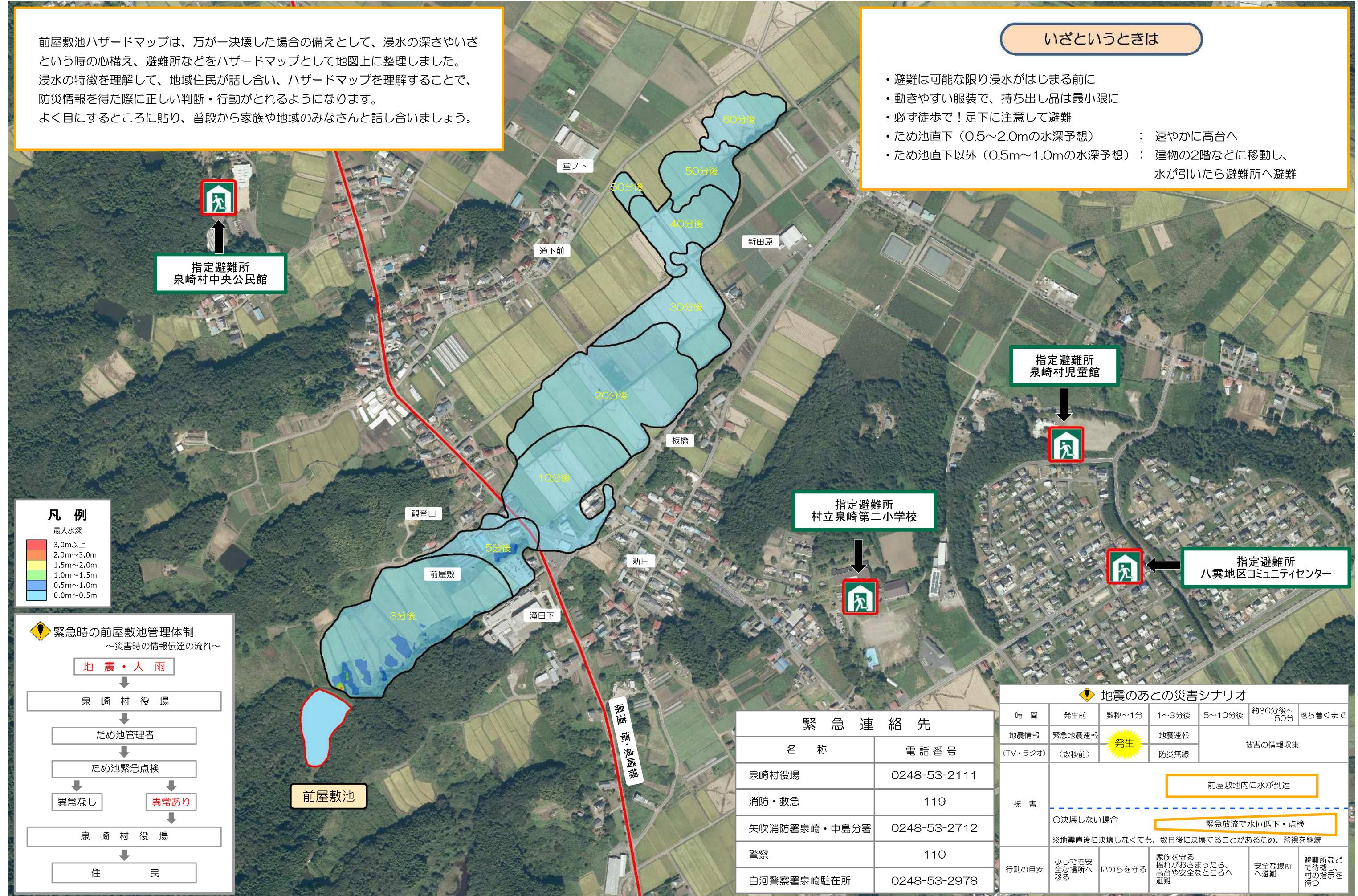
0 100 200 300 400 m 縮尺 1:6,000



前屋敷池ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

## いざというときは

- ・避難は可能な限り浸水がはじまる前に
- ・動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず歩行！足下に注意して避難
- ・ため池直下（0.5～2.0mの水深予想）：速やかに高台へ
- ・ため池直下以外（0.5m～1.0mの水深予想）：建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難



# 竹ノ内池ハザードマップ

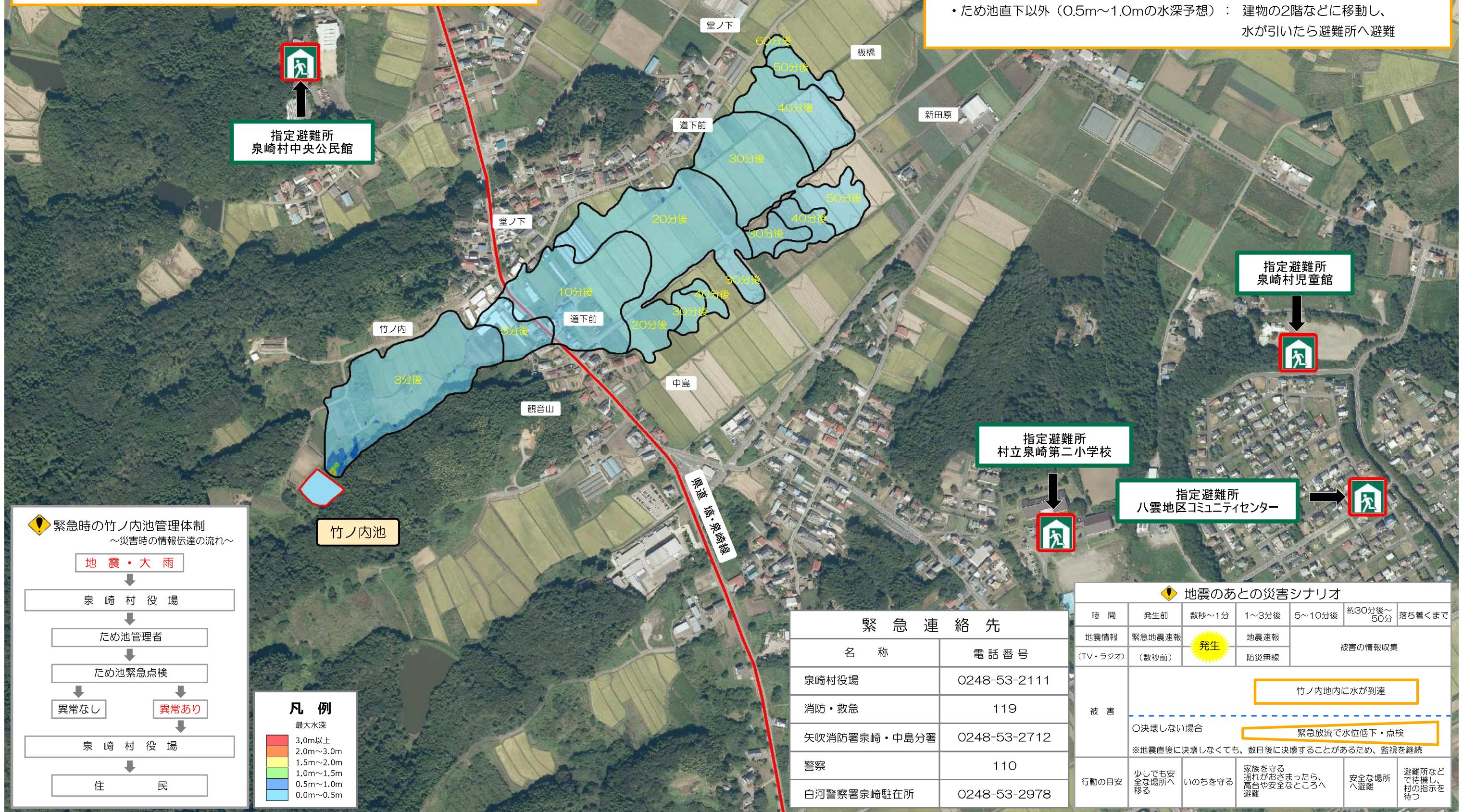
0 100 200 300 400 m 縮尺 1:5,500



竹ノ内池ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

## いざというときは

- ・避難は可能な限り浸水がはじまる前に
- ・動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず歩行！足下に注意して避難
- ・ため池直下（0.5～2.0mの水深予想）：速やかに高台へ
- ・ため池直下以外（0.5m～1.0mの水深予想）：建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難



# 行方地池ハザードマップ

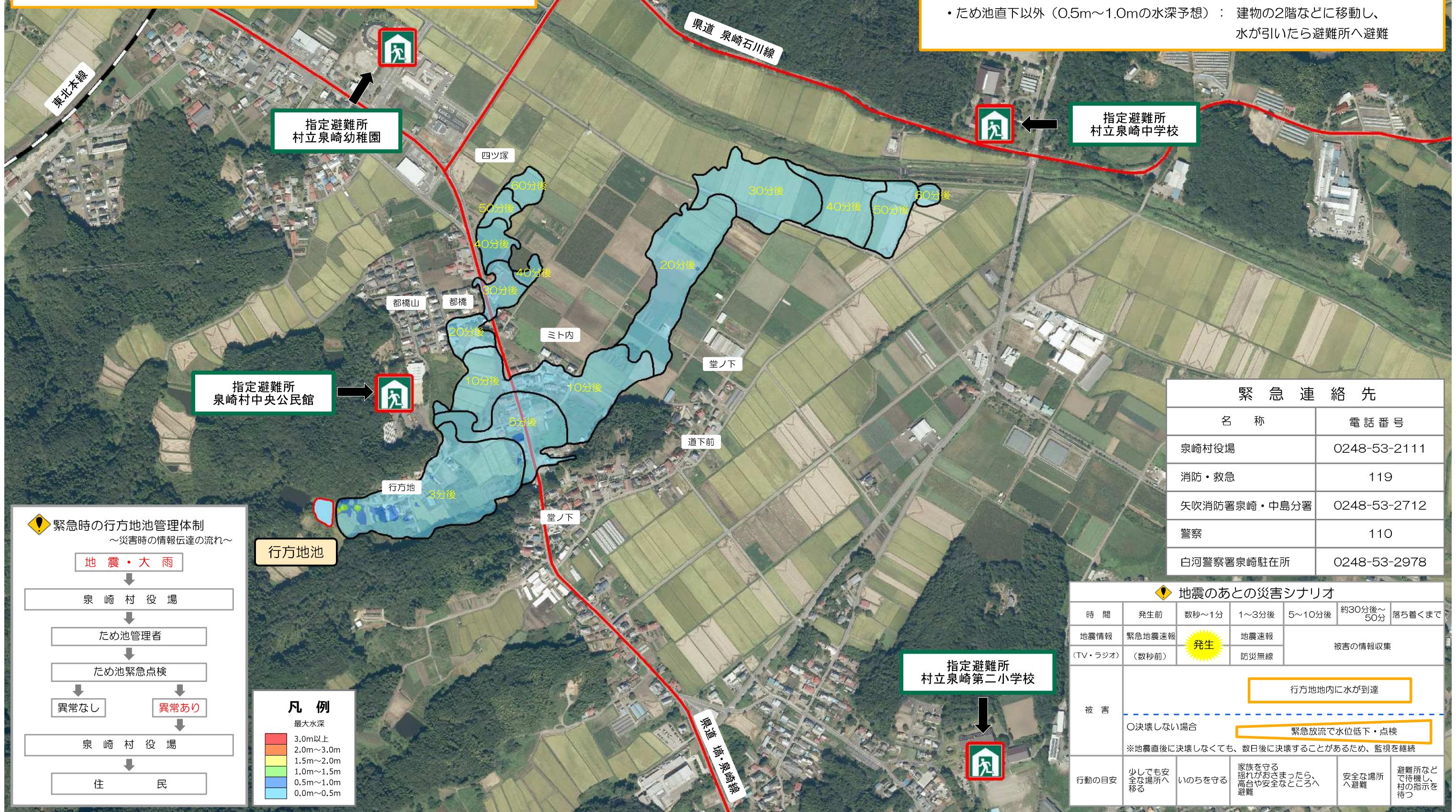
0 100 200 300 400 500 m 縮尺 1:7,000



行方地池ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

## いざというときは

- ・避難は可能な限り浸水がはじまる前に
- ・動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず歩行！足下に注意して避難
- ・ため池直下（0.5～2.0mの水深予想）：速やかに高台へ
- ・ため池直下以外（0.5m～1.0mの水深予想）：建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難



# 三十ヶ入池ハザードマップ

0 50 100 150 200 250 300 350 m 縮尺 1:4,500



三十ヶ入池ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

## 緊急時の三十ヶ入池管理体制 ～災害時の情報伝達の流れ～

